

グローバル内部通報制度の導入・運用上の留意点

～ 2018年5月に施行される
『EU一般データ保護規則 (GDPR)』の内容も踏まえて解説 ～

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

【開催要領】

日時▶ 2018年5月30日(水) 13:00～17:00
会場▶ 企業研究会セミナールーム(東京:麹町5丁目)

【開催にあたって】

海外子会社の不祥事や不正の火種を消すための方策として、グローバル内部通報制度を導入する企業が増えています。しかし、「どこから始めればいいのか」、「どのような導入アプローチやモデルが考えられるのか」、「EU域内の海外子会社から通報を受ける際にどのような点に留意すべきか」などのお悩みや課題等を抱えられているケースも少なくないと思われます。そこで、本セミナーでは、このような企業の皆様向けに、2018年5月に施行される、EU一般データ保護規則(GDPR)の内容も踏まえたグローバル内部通報制度の導入・運用に当たっての留意点について解説いたします

講師 (株)ディークエスト ヘルプライン事業部 ジェネラルマネージャー 梅澤博文 氏

講師紹介
新生銀行、コンプライアンスオフィサーでの経験を生かし、研修や内部統制業務や相談業務に従事した。2016年、ヘルプライン事業部事業ジェネラルマネージャーに就任。相談・内部通報窓口に係る業務管理、顧客テクニカルサポート、内部通報に関わる専門人材育成に携わるトレーナーとして活躍中。

【申込方法】 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含む) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(O発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

181504-0303 グローバル内部通報制度の運用上の留意点

ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 職		
E-mail			

※申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問 (FAQ) は当会HPにてご確認いただけます。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

【プログラム】

1. 実務における海外子会社管理のための

グローバル・コンプライアンスと内部通報制度

- (1) 海外子会社等管理に関する留意点
- (2) グローバル・コンプライアンスと内部通報制度の位置付け
- (3) 内部通報制度が有効活用された場合に発揮する機能

2. グローバル内部通報制度の現状と課題

- (1) グローバル内部通報制度の運用状況に関する自主点検事項と運用上の有効性
- (2) 実例を基にした海外子会社等で発生した不祥事・不正と事業展開に伴うリスクの分類とチェック事項

3. グローバル内部通報制度の導入における法的留意点

- (1) グローバル内部通報制度の導入に際しての留意点
- (2) グローバル内部通報制度の運用に際しての留意点

4. グローバル内部通報の事例紹介

- (1) グローバル内部通報制度の導入の事例
 - ・3つのパターン分析と事例紹介
 - ・運用方式の説明と安全性の確保
 - ・導入の問題点(実際に起きたことを説明)
- (2) グローバル内部通報制度の運用の事例
 - ・海外からの通報実績件数と一般的な運用上の問題点
 - ・海外通報によって未然に防ぐことのできた事例

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。